

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0192902096		
法人名	日総ふれあいケアサービス株式会社		
事業所名	グループホーム まごころの贈り物 2階		
所在地	旭川市末広東1条3丁目1-4 ケアサポート末広2階		
自己評価作成日	令和2年1月18日	評価結果市町村受理日	令和2年3月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action.kouhyou_detail_022_kan=true&JigyosyoCd=0192902096-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・笑顔で皆さんが生活出来る環境の構築に力を入れています、毎日楽しく健康にを目標に日々生活を支えています。
- ・個人の意見を尊重し、皆さんが色々な場所で、お話をしたり、編み物をしたりすごされています。
- ・事業所の勉強会、会社の旭川地区合同の勉強会などを定期的に行い、職員の知識と技術の向上に努めています。
- ・入居者様と天気の良い日には散歩や近医受診の時には、車椅子などで季節を感じながら気分転換を図っています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和2年2月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ふれあいの里グループホーム まごころの贈り物」は、幹線道路近くの静かな住宅地にある2ユニットの事業所である。バス停から徒歩5分以内と近く、近隣には協力病院があり緊急時の対応も可能になっている。当事業所は開設後17年が経過しており、管理者と職員は町内会行事に積極的に参加して地域に根差した運営を進めている。地域との関係では、町内会の役員交代で新会長と連携しながら、今後も相互の行事に利用者と住民が交流できる場を検討している。多彩な催しのボランティア来訪は顔馴染みになっており、また社会福祉協議会の依頼で傾聴ボランティアを受け入れ、外部の人と触れ合う楽しみの機会を継続して行っている。管理者は職員が学べる環境を整え、法人の教育システムの活用やミーティング時に勉強会を行っている。今後は外部研修で医療的な知識なども学ぶ機会を増やし、ケアの質を更に高めたいと考えている。職員間で本人の意向を話し合い、家族の協力も得ながら馴染みの関係が継続できるように支え、利用者担当職員が毎月のお便りで普段の様子を家族に伝えている。全職員で詳細な内容の介護計画を作成し個別の意向に沿って外食をし、また季節の花見が楽しめるように支援している。利用者が笑顔で過ごせるように職員は向き合うケアを行い、日々丁寧に優しく接している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各階事務所に理念を掲示しています。各階が特色をもって入居者様と生活できるように、フロアー理念をも提示しています。	地域密着型サービスの文言が入った事業所理念を要所に掲示し、意識化を図っている。また各フロア理念は見直す中で、それぞれの特徴を活かした内容を継続し共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会行事に参加できるように援助しています。職員が町内会の行事(廃品回収や新年会、敬老会)などに参加し町内の方と顔なじみの関係を作れるようにしています。	管理者と職員は町内会行事に参加して関係を築いているが、事情もあり利用者の参加がない。近所からは採れた野菜の提供を受けることもある。事業所行事にボランティアが来訪し、催しや傾聴ボランティアなど毎週のように楽しみごとがある。	町内会代表の交代もあり、利用者が参加できる住民との交流機会を積極的に考えていきたい意向があり、その実現に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて認知症に関しての説明や啓発を行って地域に根差した活動を行えるようにしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会の副会長と民政委員さんに参加をお願いしホームの現状を発表させていただいています。問題点や解決方法のアドバイスなどをいただいています。また他法人の運営推進会議にも管理者が参加させていただき参考にさせていただいています。	定期的に会議を開催しており、今年度は必要なテーマを取り上げ、行事、感染症対策、防災、外部評価、家族会などの報告を中心に意見を交換している。詳細な議事録で全家族に報告しているが、家族の参加は得られていない。	今後もテーマを記載した会議案内を送り、家族の参加が得られる工夫に期待したい。また参加が難しい家族の意見も具体的に引き出しながら、会議に反映できるよう期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	保護課の職員来訪や、「申請手続き」やホーム内外の「事故報告」や介護保険に関する相談や意見を、その都度または監査課の職員の方に相談させてもらっています。他GHの運営推進会議にも参加させて頂いています。	書類申請時や報告書を持参し、管理者は市の担当者に手渡す際に確認や情報を得ている。地域包括支援センター職員、生活保護担当者、社協の担当者と連絡を密にし、伝達や情報を共有している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関しては、どんなときにも行わないケアを目指しています。研修会を行い、各個人のケアの質の向上を目指しています。	ミーティングの際に、3か月ごとに身体拘束廃止委員会もち、職員も参加しケアの状態を把握している。研修では身体拘束禁止行為を確認し、主に利用者の言動を抑制しない言葉がけや対応を学びケアにつなげている。外に出たい時は様子を見ながら対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月1回行われるケースカンファレンスを通じて、虐待にならないように話し合っています。また、入浴時や就寝介助時に皮膚の観察を行い不適切なケアがないか観察を行っています。		

ふれあいの里 グループホーム まごころの贈り物

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在1名の方が成年後見人制度を利用しています。研修会参加を促していますが、今年はなかなか研修会に参加できなく社内研修として実施しました、		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	新規入居時に、契約書、重要事項説明書を全文読ませていただき、疑問点をその場で解決できるようにしています。またその後疑問点や不明点はその時々で対応させていただき解決できるように努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1階ホールに意見箱を設置来訪時など意見を伝えてくださるような雰囲気づくりを努力しています。また入り口には運営推進会議議事録をファイルに閉じていつでも閲覧できるようにしています。	家族会で事業所からの説明や意見を聞く時もある。来訪時にケアの方法を説明する中で要望や介護計画の意向も聞いている。来訪頻度が少ない家族には電話で確認し、意見などは介護支援経過記録で共有している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回のミーティングにて、意見交換を実施し意見を交換できる体制をとっています。	ユニット会議では、調理の工夫やケアの方法など、また計画の見直しで意見を交換している。管理者は日々業務の中で個別の意見を聞いており、今回は職員の意見も取り入れてトイレのドアや床の張り替えをしてホーム内の環境を整えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	H25年9月より、「正社員制度」を導入し、条件や責務内容または実績に応じ対象職員への向上に向けた体制作りや、事前に希望休み・夜勤回数希望を聞き入れ、勤務表の作成をしています。休憩時間の確保や事業所内の整理整頓を行い、環境整備作りを心掛けています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内の研修を行ったり、会社にて勉強用のDVDを制作し個々人にあった、勉強を進めてもらっています、今後研修会がだんだん少なくなってきましたが遠方の研修にも参加できるように、会社に働きかけしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所の運営推進会議や、町内の会議などに参加しいろいろな情報収集や連携に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様が今までご自宅で生活してきたことを中心に不安や要望を訴えられる環境づくりを行いながらその人に寄り添うケアを実践できるようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時に施設内を見学していただき、ホームの雰囲気や利用料金、受診や職員体制を分かりやすく説明させていただいています。要望に関してはフロアダーを通じて改善できるようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居するにあたり、入居者様が生活していた環境をできる限り崩さぬように、主治医などは極力変更しないように、入居者様の意向に沿った援助を心がけています、		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の残っている機能を大切に、またその機能を向上させることができるようにご本人様とのご意向を確認し本人らしく生活できるように援助しています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には毎月1回、前月ぶんの内容を記入したご様子をお送りしています、また3か月に一回まごころ便りを発行しご家族あてにお送りしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族とキーパーソン様の許可がある場合に関しての外泊外泊に関しては制限を設けてはいません。ご友人が来られた時はご家族にもその旨をお伝えしています。	近所に住んでいた友人の来訪時に、一緒に外出する方もいる。家族との外泊や外出の際に外食などを楽しんでいる。通院の帰りに好きなおやつを買い、行事の際には駅前通りの「あさひかわ北彩都ガーデン」に行き、アイスクリームを食べている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士がホールの長椅子に腰かけながら、お話ししたりしています、3階入居者様はホールと食堂におられることが多く就寝時以外は自室に戻れることはなかなかありません。ホールで皆さん楽しくされるように援助しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたご家族から車椅子をもらったり、ウエスなどの寄付をいただいたりしています。入退院時には関係性を継続できるように相談員や病棟看護師との連携を密に行っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用し、入居者様の日々の言動について観察し、ご本人様の思いをくみ取り各職員が統一した対応と介護を提供できるようにしています。	会話や、難しい場合は表情などから思いを把握している。センター方式を使用し、B-3シートには本人の趣味、嗜好などの変化も追記して6か月ごとに更新し、現在の思いを計画につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時には、今までの生活が解るようにご家族といろいろなことを聞き情報収集に努めます。また今まで関連のあったケアマネさんより情報収集に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプランに沿ってケアを提供しながらケアミーティングなどで、入居者様の情報を共有しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月一度のミーティング・カンファレンス時に職員からの情報や計画評価を行い、御本人や御家族の希望、要望を取り入れながら、ケアマネージャーが介護計画を作成しています。	利用者担当職員と計画作成担当者で3か月ごとにモニタリングを行い、6か月ごとにカンファレンスで確認し介護計画を作成している。日々の記録は目標に沿って支援内容の変化も記載している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	法人間での移動も視野に入れ、会社全体で同じ書式を導入しています今年に入ってから、介護記録支援ソフトの導入にてかなり分かりやすくなっています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族とご本人との意向を確認しながら、最も良いサービスの提供に心がけています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	庭がないため野菜などの園芸はできませんが、プランターやポッドを用いて、入居者様と花の苗を買いに行っています。今年は野菜として紫蘇とえんどう豆を植えましたが残念ながら不作でした。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医のある方は、継続してかかりつけ医にかかってもらっています。またかかりつけ医のない方は協力医療機関である旭川消化器肛門科クリニックにて対応させていただいています。	基本的には、かかりつけ病院の受診を継続している。通院に職員が同行し、結果を家族に報告している。受診内容によっては家族も同席している。受診記録は個別ファイルで管理し、経過を共有している。	

ふれあいの里 グループホーム まごころの贈り物

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の利用者の状況報告や相談は系列施設看護師へ系列看護師対応困難な場合は管理者が看護師の為24時間での相談、緊急対応を実施しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	普段の日常生活に関しての情報交換については、各階ケアマネが担当していますが、医療的部分に関しての調整に関しては管理者が参加しています。ご家族の依頼があれば病状説明に関しても参加し病院とご家族の橋渡しを行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化指針を説明させていただき同意をとっています。ご本人とご家族のご意向を確認し各医療機関を含め関係機関との協議の上方針を決めさせていただいています。	利用開始時に、対応指針に沿って看取りが可能なことも伝えている。状態の変化で看取りが必要な時は、意向に沿って往診の可能な主治医に変更している。また看取りケアを行う際には主治医の下で勉強会を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成していますので、急変時にはマニュアルを参照し初期対応ができるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会には、災害時に入居者様の見守りを行っていただけるようお願いしています避難訓練では町内会の方が参加していただいています。非常食3日分と石油ストーブ4台を備蓄し災害に備えています。	防災設備会社の協力で昼夜を想定した火災避難訓練を行い、この3月には消防署指導での訓練を予定している。地震や水害を想定した対応で、水害時には建物3階への避難を確認している。今後は職員の救急救命訓練の受講を検討している。	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報鍵のかかる場所に保管しています。入居者様各個人に合わせた声掛けを行っています。	職員間で利用者の事を話すときは部屋番号で呼び、プライバシーに配慮している。言葉遣いに関する会議を行い、名前は「さん」付けで呼んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の意向に沿った日常生活を行えるように日常生活のケア中に気づいたことなどを、職員間にて共有できるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の気分と体調に配慮しながら、ご本人の意思決定を尊重しケアを行うように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月一回の訪問理美容にて整髪を行っています。またご自身で、服装を決定できる方には声掛けを行い季節に合った服装が出来るように援助しています。		

ふれあいの里 グループホーム まごころの贈り物

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の最中も皆さんが楽しくおしゃべりをし食事をされています。体調が良い時には食器を洗っていたり、配膳のお手伝いをしてくれています。	利用者が職員に調理法を教えながら茶わん蒸しやおやつを作ることもある。献立が作成されているが、希望によりムニエルを焼き魚に変更するなど、食材の調理法を変えて食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	会社の管理栄養士が栄養バランスを考えて献立を考えています。各個人の水分摂取量や食事量は記録をとって過不足内容に援助しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	だんだんと自力にて口腔ケアを行える入居者様がすくなくなり、自分のできる方は毎食後声掛けを行っています。自力にて出来ない入居者様に関しては口腔ケアを介護者から行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンの把握の為、個別の記録を行っています。	自立している方もいる。日々の生活の流れで自然に誘導するなど工夫をし、失敗を少なくするよう努めている。可能な限りおむつを使用しないでリハビリパンツを使い、自立に向けて取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の予防の為、朝の体操時には、腹部マッサージを入居者様と行っています。便秘が続く時には主治医と相談し下剤の調整を行っています。また牛乳なども提供しなるべく自然な排便リズムの形成に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴を提供できる時間は決まっていますが、入居者様の意向に沿えるように入浴支援を行っています。	曜日にかわらず、週2回の入浴支援を行っている。利用者ごとにお湯を交換している。ミカンや入浴剤を入れるなど本人の希望に沿いながら入浴を楽しむことができるような支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	部屋の温度を適度に保てるように温度計にて確認しています。加湿器や各居室にぬれタオルを設置し加湿にも気を付けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各入居者様に関しての内服薬一覧は、個人記録を置いてある場所に、入居者様全員分をファイルに保管してあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食後の食器拭きや、洗濯物をたたんだり各入居者様が役割をもって生活されています。職員間で入居者様の得手不得手を情報として共有し援助させていただいています。		

ふれあいの里 グループホーム まごころの贈り物

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や体調に留意し行事を月一回行い外出の機会を増やしています。昔は全員でいろんな場所に行けましたが、現在は皆さんの介護度が上がり少人数で何回かに分けて外出行事を行っています。	近隣住宅の庭先の花を見ながら散歩をしている。車椅子の利用者も散歩に出かけ外気に触れる機会をつくっている。夏場はベランダのプランターで野菜を育てたり、春先は花咲スポーツ公園に花見に行くなど、外出行事を増やし外気に触れるよう努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	何名かの入居者様のご家族と相談の上お金もっています。また、暖かい日などは外出を兼ねて外に買い物などでかけます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	宛名を代筆したり、本文を代筆したりとお手伝いをさせていただいています。電話に関しては事務所の電話を使用いただいています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じられるように、玄関にプランターでお花を育てたり、植木鉢にて野菜を育てたりしています。節目の季節では季節行事を行い季節の移り変わりを感じていただけるようにしています。	利用者の書初めやひな壇など、季節に合った装飾をすることで四季を感じることができる。玄関先に利用者の作った装飾、室内は行事の写真や色紙で作った飾りなどが多く飾られており、家庭的で温かみのある共用空間がつくられている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	消防法に触れないように配慮しながら、椅子机などの配置を考え入居者様が個人個人生活できるように配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で生活していたなじみの物を持って来ていただけるようお願いしています。自宅での生活になるべく近づけるように配慮して生活してもらっています。	クローゼットと防災カーテンが備え付けられている。机やタンスなどの使い慣れた家具や本、編物、CDプレイヤーやテレビなど趣味に関するものを置いている方もいる。家族の写真や習字の作品などが飾られ居心地のよい居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	御本人と御家族の了承を得て、居室前に表札や御本人の好まれる絵や写真を飾ったり、トイレの場所が分かるよう「プレート」で示しています。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0192902096		
法人名	日総ふれあいケアサービス株式会社		
事業所名	グループホーム まごころの贈り物 3階		
所在地	旭川市末広東1条3丁目1-4 ケアサポート末広3階		
自己評価作成日	令和2年1月18日	評価結果市町村受理日	令和2年3月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action.kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0192902096-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・笑顔で皆さんが生活出来る環境の構築に力を入れています、毎日楽しく健康にを目標に日々生活を支えています。
- ・個人の意見を尊重し、皆さんが色々な場所で、お話をしたり、編み物をしたりすごされています。
- ・事業所の勉強会、会社の旭川地区合同の勉強会などを定期的に行い、職員の知識と技術の向上に努めています。
- ・入居者様と天気の良い日には散歩や近医受診の時には、車椅子などで季節を感じながら気分転換を図っています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和2年2月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各階事務所に理念を掲示しています。各階が特色をもって入居者様と生活できるように、フローア理念も提示しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会行事に参加できるように援助しています。職員が町内会の行事(廃品回収や新年会、敬老会)などに参加し町内の方と顔なじみの関係を作れるようにしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて認知症に関しての説明や啓発を行って地域に根差した活動を行えるようにしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会の副会長と民政委員さんに参加をお願いし、ホームの現状を発表させていただいています。問題点や解決方法のアドバイスなどをいただいています。また他法人の運営推進会議にも管理者が参加させていただき参考にさせていただいています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	保護課の職員来訪や、「申請手続き」やホーム内外の「事故報告」や介護保険に関する相談や意見を、その都度または監査課の職員の方に相談させてもらっています。他GHの運営推進会議にも参加させて頂いています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関しては、どんなときにも行わないケアを目指しています。研修会を行い、各個人のケアの質の向上を目指しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月1回行われるケースカンファレンスを通じて、虐待にならないように話し合っています。また、入浴時や就寝介助時に皮膚の観察を行い不適切なケアがないか観察を行っています。		

ふれあいの里 グループホーム まごころの贈り物

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在1名の方が成年後見人制度を利用しています。研修会参加を促していますが、今年はなかなか研修会に参加できなく社内研修として実施しました、		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	新規入居時に、契約書、重要事項説明書を全文読ませていただき、疑問点をその場で解決できるようにしています。またその後疑問点や不明点はその時々で対応させていただき解決できるように努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1階ホールに意見箱を設置来訪時など意見を伝えてくださるような雰囲気づくりを努力しています。また入り口には運営推進会議議事録をファイルに閉じていつでも回覧できるようにしています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回のミーティングにて、意見交換を実施し意見を交換できる体制をとっています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	H25年9月より、「正社員制度」を導入し、条件や責務内容または実績に応じ対象職員への向上に向けた体制作りや、事前に希望休み・夜勤回数希望を聞き入れ、勤務表の作成をしています。休憩時間の確保や事業所内の整理整頓を行い、環境整備作りを心掛けています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内の研修を行ったり、会社にて勉強用のDVDを制作し個々人にあった、勉強を進めてもらっています、今後研修会がだんだん少なくなってきましたが遠方の研修にも参加できるように、会社働きかけしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所の運営推進会議や、町内の会議などに参加しいろいろな情報収集や連携に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様が今までご自宅で生活してきたことを中心に不安や要望を訴えられる環境づくりを行いながらその人に寄り添うケアを実践できるようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時に施設内を見学していただき、ホームの雰囲気や利用料金、受診や職員体制を分かりやすく説明させていただいています。要望に関してはフロアダーを通じて改善できるようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居するにあたり、入居者様が生活していた環境をできる限り崩さぬように、主治医などは極力変更しないように、入居者様の意向に沿った援助を心がけています、		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の残っている機能を大切に、またその機能を向上させることができるようにご本人様とのご意向を確認し本人らしく生活できるように援助しています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には毎月1回、前月ぶんの内容を記入したご様子をお送りしています、また3か月に一回まごころ便りを発行しご家族あてにお送りしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族とキーパーソン様の許可がある場合に関しての外出外泊に関しては制限を設けてはいません。ご友人が来られた時はご家族にもその旨をお伝えしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士がホールの長椅子に腰かけながら、お話ししたりしています、3階入居者様はホールと食堂におられることが多く就寝時以外は自室に戻れることはなかなかありません。ホールで皆さん楽しくされるように援助しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたご家族から車椅子をもらったり、ウエスなどの寄付をいただいたりしています。入退院時には関係性を継続できるように相談員や病棟看護師との連携を密に行っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用し、入居者様の日々の言動について観察し、ご本人様の思いをくみ取り各職員が統一した対応と介護を提供できるようにしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時には、今までの生活が解るようにご家族といろいろなことを聞き情報収集に努めます。また今まで関連のあったケアマネさんより情報収集に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプランに沿ってケアを提供しながらケアミーティングなどで、入居者様の情報を共有しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月一度のミーティング・カンファレンス時に職員からの情報や計画評価を行い、御本人や御家族の希望、要望を取り入れながら、ケアマネージャーが介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	法人間での移動も視野に入れ、会社全体で同じ書式を導入しています今年に入ってから、介護記録支援ソフトの導入にてかなり分かりやすくなっています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族とご本人との意向を確認しながら、最も良いサービスの提供に心がけています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	庭がないため野菜などの園芸はできませんが、プランターやポッドを用いて、入居者様と花の苗を買いに行っています。今年は野菜として紫蘇とえんどう豆を植えましたが残念ながら不作でした。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医のある方は、継続してかかりつけ医にかかってもらっています。またかかりつけ医のない方は協力医療機関である旭川消化器肛門科クリニックにて対応させていただいています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の利用者の状況報告や相談は系列施設看護師へ系列看護師対応困難な場合は管理者が看護師の為24時間での相談、緊急対応を実施しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	普段の日常生活に関しての情報交換については、各階ケアマネが担当していますが、医療的部分に関しての調整に関しては管理者が参加しています。ご家族の依頼があれば病状説明に関しても参加し病院とご家族の橋渡しを行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化指針を説明させていただき同意をとっています。ご本人とご家族のご意向を確認し各医療機関を含め関係機関との協議の上方針を決めさせていただいています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成していますので、急変時にはマニュアルを参照し初期対応ができるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会には、災害時に入居者様の見守りを行っていただけるようお願いしています避難訓練では町内会の方が参加していただいています。非常食3日分と石油ストーブ4台を備蓄し災害に備えています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報鍵のかかる場所に保管しています。入居者様各個人に合わせた声掛けを行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の意向に沿った日常生活を行えるように日常生活のケア中に気づいたことなどを、職員間にて共有できるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の気分と体調に配慮しながら、ご本人の意思決定を尊重しケアを行うように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月一回の訪問理美容にて整髪を行っています。またご自身で、服装を決定できる方には声掛けを行い季節に合った服装が出来るように援助しています。		

ふれあいの里 グループホーム まごころの贈り物

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の最中も皆さんが楽しくおしゃべりをし食事をされています。体調が良い時には食器を洗っていたり、配膳のお手伝いをしてくれています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	会社の管理栄養士が栄養バランスを考えて献立を考えています。各個人の水分摂取量や食事量は記録をとって過不足内容に援助しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	だんだんと自力にて口腔ケアを行える入居者様がすくなくなり、自分のできる方は毎食後声掛けを行っています。自力にて出来ない入居者様に関しては口腔ケアを介護者から行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンの把握の為、個別の記録を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の予防の為、朝の体操時には、腹部マッサージを入居者様と行っています。便秘が続く時には主治医と相談し下剤の調整を行っています。また牛乳なども提供しなるべく自然な排便リズムの形成に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴を提供できる時間は決まっていますが、入居者様の意向に沿えるように入浴支援を行っています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	部屋の温度を適度に保てるように温度計にて確認しています。加湿器や各居室にぬれタオルを設置し加湿にも気を付けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各入居者様に関する内服薬一覧は、個人記録を置いてある場所に、入居者様全員分をファイルに保管してあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食後の食器拭きや、洗濯物をたたんだり各入居者様が役割をもって生活されています。職員間で入居者様の得手不得手を情報として共有し援助させていただきます。		

ふれあいの里 グループホーム まごころの贈り物

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や体調に留意し行事を月一回行い外出の機会を増やしています。昔は全員でいろんな場所に行けましたが、現在は皆さんの介護度が上がり少人数で何回かに分けて外出行事を行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	何名かの入居者様のご家族と相談の上お金をもっています。また、暖かい日などは外出を兼ねて外に買い物などでかけます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	宛名を代筆したり、本文を代筆したりとお手伝いをさせていただいています。電話に関しては事務所の電話を使用していただいています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じられるように、玄関にプランターでお花を育てたり、植木鉢にて野菜を青だてたりしています。節目の季節では季節行事を行い季節の移り変わりを感じていただけるようにしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	消防法に触れないように配慮しながら、椅子机などの配置を考え入居者様が個人個人生活できるように配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で生活していたなじみの物を持って来ていただけるようお願いしています。自宅での生活になるべく近づけるように配慮して生活してもらっています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	御本人と御家族の了承を得て、居室前に表札や御本人の好まれる絵や写真を飾ったり、トイレの場所が分かるよう「プレート」で示しています。		

目標達成計画

事業所名 ふれあいの里グループホームまごころの贈り物

作成日：令和 2年 3月 12日

市町村受理日：令和 2年 3月 12日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	事務所として町内行事に参加できない。	町内会の行事に入居者さんと参加できるようにする。	今年度町内会長が決まり、町内会としての動きができてくると予想されるので、新町内会長さんと連携を密にして関係性構築していけるようにする。町内会のお祭りや敬老会が今年開催できるようであれば、できるように支援していく。	1年
2	4	運営推進会議にご家族の参加が少ない。	運営推進会議に多くのご家族に参加をしていただきたい。	前回と同様に、年間テーマを作成し、お送りしご家族だよりに再度開催日を掲載し、参加していただけるように努め、また来訪時に同様に参加をしていただけるようお願いを行っていく。	1年
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。